

日々のあれこれ

日本では桜も咲き、過ごしやすい季節になっているのかなと思います。コロンビアは赤道に近い国なので、年間通してあまり気温は変わりません。日照時間も、一年で一番長い日と短い日で40分しか違いませんが、季節の移り変わりが無いので時々今が何月か忘れそうになります。コロンビアに来てもう3か月が経ちました。ほんとに少しずつですがこちらの生活に慣れてきています。



○「PAISA」って？

私の住んでいるメデジン市で使われている言葉で、「地元の人」という意味です。2年間で私も「PAISA」の仲間入りしたいという想いを込めてこのタイトルにしました。

自転車用道路

と

アクセシビリティ



コロンビアの道路は日本と比べると穴がよく開いていたり、突然杭が出ていたりして油断出来ません。最初は私もよく転びかけました。特に身体障害のある方の移動はバリアが多くあります。エレベーターのある駅も見かけないので、車いすの方は移動が本当に大変です。そんな時役に立つのが自転車用道路です。コロンビアでは自転車がスポーツとしても移動手段としても人気で、都市部では自転車用道路が一部整備されています。当然自転車用道路は段差が少ないので、車いすユーザーにとっても移動がしやすいとの話を聞きました。バリアが多い国での生活の知恵を1つ学びました。

カラフルな街並み

メデジン市はかつて麻薬ビジネスが盛んで犯罪が多く、治安が悪い印象の強い街でした。現在では戦力的な都市政策により、大きく治安が改善しました。右の写真（拡大して観てください）のように家がカラフルに彩られたり、至る所の壁にグラフィックアートが描かれ、それが観光地化して治安の改善にも繋がっています。何気ない街角の絵がステキで立ち止まることも多くあります。アートが身近にある街です。

PAISA

～コロンビア日記～

Vol.2

2025.4.11

板 華子



果物いろいろ

今回はマモンシージョという果物を紹介します。中南米一帯に広く自生する果物で、ハニーベリーとも呼ばれています。スーパーには売っておらず、街角のフルーツ屋台で見つけて買いました。

外の皮を手でむくとジューシーな果肉が出てきます。大きな目の種に果肉がくっついていて、餡のようになめながら味わいます。ベリーの仲間ですが、味は少し渋みがあって甘酸っぱく、ブドウに似ています。ビタミン・鉄分・ポリフェノールが豊富に含まれています。



法律や制度、社会の仕組みが大きく異なる場所での活動なので、特に今は資料を多く読んで過ごしています。言葉の壁に悪戦苦闘していますが、あたたかい同僚たちに支えられています。コロンビアの方々は愛情深く感情表現が豊かな方が多く、日々優しい言葉をかけて抱きしめてくれます。大きな心を持ったコロンビアの人々から学ぶ日々です。

所感

JICA海外協力隊は、発展途上国に日本人をボランティアとして派遣し、支援活動を行うものです。コロンビアは貧富の差が大きいものの、メデジン市のような都市部には大学が多数あり、私が働く市役所の職員達の知識や技術レベルはかなり高い印象です。

そんな場所で私に何が出来るのかと不安になることもあります。同僚たち、障害当事者の皆さん、障害のある家族をケアする方々は私の日本での経験や日本の障害者の暮らし等について知り、意見を交わすことを楽しみにされています。ここコロンビアで何かを変えようとするのでは無く、まずは言葉で表現して共有するところから少しずつ活動を進めていきたいと思っています。

板 華子（いた はなこ）

コロンビア・ソーシャルワーカー・南部町出身

Instagramも時々更新しています。

右のQRコードよりご覧ください。

アカウント: hana_en_col



@HANA_EN_COL